

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

アンケートの
回収数をこちらに記載

公表：令和 6年 3月 5日

事業所名 ホップステップこっちゃん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		No	集計数	はい	いいえ
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	86%	14%	現在問題なし	法令に遵守した配置になっています。		1	7	6	1
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	ドライバーと兼務が必要なため1人多く配置している			2	7	7	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差を取り除き現在はなし		利用児童の療育内容に応じた配慮を行っています。		3	7	7
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	全員で検討できるように日時調整している	朝礼時に実施。今後は療育後に職員振り返りを実施、全職員がPDCAを実行しています。		4	7	7	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	色々な保護者様の意見を取り入れる機会になっている	保護者へ面談やアンケートを行い、業務改善に繋がっています。自己評価の結果はホームページへ公開しお知らせしています。		5	7	7	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HP掲載			6	7	7	
適切な 支援の 提供	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	他事業所へ確認していただけたりはしているがしっかりと外部評価ではないと思うので今後検討する。事業所通しの相互監査を行い、業務改善に繋がっていきます。			7	7	7	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修の機会を作り動画研修など実施 動画研修は毎月実施。スタッフの必要な課題の研修を視聴しています。			8	7	7	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童の担当を作り指導員と一緒に目標、支援方法など差がでないように児童発達支援員とともに作成している。			9	7	7	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	障がい福祉ソフトを利用し作成	計画期間ごとにアセスメントをとり、放課後デイサービス計画を作成している。		10	7	7	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	全員で実施	季節に合わせ室内外での活動を行いプログラムが固定しないよう工夫しています。また月間プログラムを作成し、子どもたちが楽しく通所できるような工夫もしています。		11	7	7	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月ミーティングを2回～3回実施して確定している			12	7	7	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日は課題を設定し支援している	長期休暇など、休日については集団活動や社会性に向けての課題作成		13	7	7	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	その通り実施	個別支援計画に基づき課題を決め本人の状態に合わせた活動が出来るよう工夫しています。様々な障がいの特性を理解し、無理のない範囲での活動を行っています。		14	7	7	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時実施	サービス提供前に打ち合わせを行っています。学校やご家庭からの情報も大事に子ども達が安心して通えるよう情報共有を行っています。		15	7	7	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	送迎が早く終われば実施できているが朝礼ですることが多い	今後はその日に反省や解決ができるように周知していく		16	7	7	
関係機 関や保 護者 との 連携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	ダブルチェック制度を徹底している。	今後は検証や改善のミーティングができるようにする。		17	7	7	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	している	年2回モニタリングを実施し計画の見直しを行っています。		18	7	7	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	行っている	年間計画に総則の基本動作を盛り込み実施しています。		19	7	7	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	その通り	家族や相談支援事業所も含めた個性のある担当者会議を行っています。		20	7	7	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	学校や保育所等に連絡し調整実施している	ご家族を通し、情報共有を行っています。下校時の申し送りなど共有しています。		21	7	7	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療的ケア児なし			22	7	7	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	以前はしていたが時間がないなどの理由で対応できないと言われ全員は実施していない。 今後も継続して共有してもらえるように声掛け実施していく			23	7	7	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	前例無			24	7	7	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		児童発達支援センターと連携し、研修等に参加しています。		25	7	7	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	年に数回参加させて頂くことがある			26	7	7	
関係機 関や保 護者 との 連携	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加している			27	7	7	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	実施	定期的なモニタリングや毎日のお迎えの時間、連絡帳を活用し情報共有を行っています。		28	7	7	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	相談援助は実施	課題の一つになっています。 ペアレントトレーニング等の支援を実施できるような環境整備をしていく		29	7	7	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	実施	契約締結時、内容に変更が生じた時など丁寧に説明を行っています。		30	7	7	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	実施	悩みについて聞き取り、早期に解決できるよう支援しています。	31	7	7
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		保護者様と連携し感染症が減少後検討する	32	7	7
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		事業所に苦情対応担当者をおき、苦情に対し速やかに対応しています。苦情があった場合は会議を開催し対応方法を検討します。	33	7	7
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		お便りを毎月発行し情報を発信しています。	34	7	7
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		個人情報保護法に基づき、取り扱いに注意しています。	35	7	7
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		状況に合わせた情報伝達方法（連絡ノート、LINEツール）で石の疎通を図っています。	36	7	7
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		感染症が現在も拡大傾向にある為減少時実施予定。	37	7	7
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		事業所全体で委員会を立ち上げ、マニュアルを作成しています。	38	7	7
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		避難訓練（火災→年2回、地震→年2回）を定期的に行っています。	39	7	7
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		各委員がそれぞれ研修に参加し、新しい情報を学び事業所全体に周知しています。	40	7	7
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%			41	7	7
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		新規受付表でアレルギーの有無を確認しています。	42	7	7
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット定期的にまとめ、事業所内で共有しています。	43	7	7